

令和4年3月3日

豊坂小学校保護者 各位

幸田町立豊坂小学校長 伊藤 美佳

豊坂小学校教育診断アンケート結果及び分析等について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、過日お願いしました学校教育診断アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。その集計結果をもとに学校関係者評価委員会を紙面開催し、委員の方から貴重なご意見を頂きました。ここに、アンケートの集計結果と委員の方から頂いたご意見をもとにした今後の学校運営のまとめをお届けします。よりよい豊坂小学校をめざして職員一同、一層の努力をしておりますので、今後ともよろしくをお願いいたします。

A…よくあてはまる（そのように思う）	回答数 児童(4～6年)	187名
B…ややあてはまる（どちらかというとそのように思う）	保護者(全学年)延べ	402名
C…あまりあてはまらない（どちらかというとそのように思わない）	回収率 児童	100.0%
	保護者	99.8%

1 楽しい学校

※四捨五入の関係で1%程度の誤差があります。

対象	番	評価項目	A+B
児童	3	学校へ来るのが楽しい。	93%
保護者	3	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。	87%

児童設問は昨年度から6%上昇している。保護者設問は逆に3%低下しているが、90%に近い値となっている。この調査項目は最も重要な項目と捉え、児童が学校へ通うのが楽しいと思えるようにさらに努力していきたい。

2 あいさつ

対象	番	評価項目	A+B
児童	4	元気にあいさつや返事ができる。	86%
保護者	4	お子さんは、あいさつや返事がよくできる。	83%

保護者設問は横ばいだが、児童設問は13%上昇した。代表委員会を中心とした「あいさつ運動」で学校でのあいさつでは意欲が高まったと考えられる。今後は、学校の決まった場面だけでなく、家庭や地域においてもあいさつができるように「あいさつ運動」を工夫し、仲間づくり、学校づくりの原点であるあいさつの定着を図ってきたい。

3 行事

対象	番	評価項目	A+B
児童	5	学校の行事（スポーツ集会や発表会）は、積極的に参加している。	95%
保護者	5	お子さんは、スポーツ集会、発表会、マラソン大会などの学校行事に積極的に参加している。	96%

コロナ禍により学校行事の中止や縮小のなか、本年度も児童・保護者設問ともに90%を超え、昨年以上の高い数値となった。今後も、児童が行事に積極的に参加できるように工夫・改善に努めたい。

4 自治活動

対象	番	評価項目	A+B
児童	6	委員会活動には、意欲的に参加している。	96%
児童	7	学級の係活動などに責任をもって取り組んでいる。	94%
児童	14	自分の目標や学級のめあてをやりとげようとがんばっている。	89%
児童	15	学級に問題があったとき、みんなで協力して解決できる。	97%
保護者	6	お子さんは、委員会活動に意欲的に参加している。	73%

本年度はどの児童設問も上昇し、児童設問6、7、15は90%を超える高い数値となった。自主的・自治的な活動に意欲的に参加すること、係活動に責任をもって取り組むことは、「生きる力」として大事なことである。児童の活動を支援し、自治力を伸ばすために、これからも教員の効果的な指導を工夫したい。

5 授業

対象	番	評価項目	A+B
児童	8	授業は分かりやすい。	91%
児童	9	授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している。	70%
児童	10	授業では、友達の意見や感想をしっかり聞くようにしている。	96%
児童	13	授業のふり返りや感想、日記などに自分の思いや感想を進んで書いている。	90%
保護者	9	学校は、ドリルタイムや少人数指導・ティームティーチング（複数教師による指導）等により基礎学力の定着を図ろうとしている。	83%

授業について、児童設問の全てにおいて上昇が見られた。今年度は、休校がなく、落ち着いて学習に取り組み、ICTの活用を推進したことが要因と考えられる。これに対し、保護者設問では、数値が下がっている。今後も学習意欲や言語活動の力を高めるために、指導・支援のあり方を工夫していきたい。

6 体力チャレンジ

対象	番	評価項目	A+B
児童	11	体力チャレンジ（かけ足・なわとびなど）は、積極的に取り組んでいる。	91%
保護者	7	学校は、体力チャレンジや行事、授業等を通して体力の増強と健康の増進を図っている。	94%

児童設問は11%上昇し、保護者設問もほぼ横ばいで高い数値を維持した。これは、コロナ対策をしながらチャレンジタイム5分間かけ足などを行った成果と受け止めたい。さらに、継続して積極的に取り組むことができるように活動のあり方を模索したい。

7 読書と朝の活動

対象	番	評価項目	A+B
児童	12	読書や読み聞かせの時間は楽しい。	84%
保護者	8	学校は、読書・読み聞かせ等を重視し、豊かな心を育てようとしている。	83%

保護者設問は6%、児童設問は2%減少し、2年連続の低下となっている。ボランティアによる読み聞かせなど活動制限が影響していると考えられる。今後は感染対策をとりながら、読書タイムなど朝の活動を工夫したい。

8 自信（自己有用感）

対象	番	評価項目	A+B
児童	17	勉強や運動、係・委員会活動、掃除、遊びなど学校での生活のなかで、自分には自信をもっているものがある。	83%
保護者	10	先生や学校は、子どもの能力や意欲を適切に判断し認め、子どもに自信を持たせようとしている。	85%
<p>児童設問は横ばいだが、保護者設問は5%低下した。児童の回答でAが減り、Bが増えたことが保護者に敏感に影響していると考えられる。児童が自信をもつことができる手だてを見直し、家庭と連携してさらに支援にあたりたい。</p>			

9 悩み・いじめ

対象	番	評価項目	A+B
児童	18	いやなことを言われたりされたりして、長い間なやむことはなかった。	81%
保護者	11	お子さんは、いやなことを言われたりされたりして、長い間悩むようなことはなかった。	75%
児童	16	友達のいやがることはしないように、悪口は言わないようにしている。	97%
<p>いじめを含めた意識調査である。児童設問 16 は昨年よりさらに増加し、97%となった。また、児童設問 18 は微増し、80%を超えた。一方、保護者設問は微減となっている。この結果を受け止め、一層思いやりの心を育てることに努めるとともに、なやみをもつ子たちに対して丁寧に対応をしていきたい。</p>			

10 友達

対象	番	評価項目	A+B
児童	19	自分が困ったりなやんだりしたとき、相談したり助け合ったりできる友達がいる。	90%
保護者	12	お子さんは、相談できたり協力できたりする友達が学校にいて言っている。	81%
<p>児童設問は微増、保護者設問は横ばいとなった。さらに、自分のよさと仲間のよさを大切に作る温かい人間関係づくりに力を入れていきたい。</p>			

11 先生への信頼

対象	番	評価項目	A+B
児童	20	自分が困ったりなやんだりした時、相談できる先生がいる。	82%
児童	21	わたしたちの気持ちを考え、がんばりを分かってくれる先生が学校にはいる。（担任の先生以外にいる場合でもよい）	91%
保護者	13	先生や学校は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる。	78%
保護者	14	先生や学校は、子どものことについて気軽に相談できる雰囲気がある。	85%
保護者	15	先生や学校は、子どもの気持ちをよく理解し、認めてくれる。	87%
<p>昨年低下した児童設問は今年度上昇に転じ、一昨年度の値を上回った。保護者設問はどれも低下している。児童と教員が築いている信頼関係を保護者の方にもきちんと伝え、学校と保護者が信頼関係を強化していきたい。</p>			

12 良い関係づくり

対象	番	評価項目	A+B
保護者	18	学校は、保護者や地域の人たちと良い関係づくりに努めている。	94%
保護者設問は昨年に続き、高い評価をいただいた。引き続き保護者や地域の方々との良い関係に努めたい。			

13 安全・安心

対象	番	評価項目	A+B
保護者	16	学校は、地震や風水害の場合について適切に対応し、安全・安心な学校づくりに努めている。	90%
保護者設問は5%減少しつつも90%を超える高い評価をいただいている。今年度は、引き渡し訓練ができなかったが、今後も避難訓練や災害時を想定した対応について見直し、緊急メール配信を工夫するなど安全・安心な学校づくりを推進していきたい。			

14 通信・お知らせ

対象	番	評価項目	A+B
保護者	17	学校は、通信や学校ホームページ等を通して学校の方針や様子が分かるようにしている。	91%
保護者設問 17 はやや低下するも90%を超える高い評価をいただいた。今後も、HP 通信や学年通信等にて、教育目標や方針、活動の様子などを分かりやすく発信し、保護者との協働体制を強化したい。			

15 その他

対象	番	評価項目	A+B
保護者	19	学校から出される通知表の評価は、納得のいくものになっている。	91%
保護者設問 19 は横ばいで90%を超える評価をいただいた。あまり当てはまらない・あてはまらないと回答された方へ目を向け、説明責任を果たすことに努めていきたい。			